0804C290D290

NESPRESSO

Nespresso Automatic Concept Machine C290／D290

ネスプレッソ・オートマティック・コンセプトマシン C290／D290

C 290／D 290 取 扱 説 明 書

このたびは、ネスプレッソ·コーヒーメーカーをお買い上げいただき、
誠にありがとうございました。
この取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。
また、この取扱説明書は大切に保管し、必要なときにお読みください。

ご不明な点はどんなことでもネスプレッソ(次ページ)に
お電話ください。
すべてのご質問におこたえいたします。

フリーダイヤル　０１２０－５７－３１０１

もくじ

本取扱説明書では、以下D290のイラストを使用しておりますが、C290につきましても、使用上のご注意、各部の名称、ご使用方法などは同じです。

ネスプレッソへようこそ

まずは、ネスプレッソ：フリーダイヤル 0120-57-3101 にお電話ください。
24時間・年中無休で、お客様をネスプレッソにお迎えいたします。
ネスプレッソはお客様からのご注文をはじめ、あらゆるご要望におこたえいたします。

1．ご注文

フリーダイヤル　0120-57-3101　にお電話ください。ご注文は24時間・年中無休で承ります。ご注文の商品は一部地域を除き、原則2営業日以内にお届けいたします。(土・日・祝日・夏期休業期間・年末年始の発送はしておりません。また出荷が混み合った際は数日かかることがあります。)

2．コーヒーメーカーに関することは…

月曜日～金曜日の 9:00～18:00 に、フリーダイヤル　0120-57-3101 にお電話ください。コーヒーメーカーの使い方や修理などに関するご質問におこたえいたします。万が一修理の必要な場合は、弊社メンテナンスセンターまでの送料を含みました均一料金をご用意しておりますので、別途お問い合わせください。

3．その他のお問い合わせ

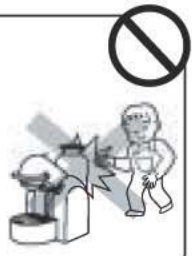
月曜日～金曜日の 9:00～18:00 に、フリーダイヤル　0120-57-3101 にお電話ください。

使用上のご注意

●電源は必ず15A以上の独立したコンセントからお取りください。また、延長コードのご使用、たこ足配線は非常に危険ですので絶対におやめください。
●最大約13Aの電流が流れますので、他の電気器具と同時に使うときは、ブレーカーの容量を超えないようにしてください。
●製品は日本向仕様（100V専用）ですので、電源・電圧の異なる海外でのご使用はできません。

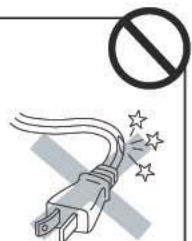
●本体に水をかけたり、水につけて洗わないでください。感電や故障の原因になります。

●子供だけのご使用、また幼児の手の届くところでのご使用はおやめください。けが、やけど、感電の恐れがあります。
●特に使用後は、スチーム・給湯ノズルが熱くなっています。

●電源は必ず適正配線された、100Vのコンセント（15A以上）から単独でお取りください。延長コードなどを使ったたこ足配線はおやめください。異常発熱して発火することがあります。

●万一、コーヒーが抽出されないなど異常が生じた場合には、ネスプレッソに修理をご用命ください。修理サービスマン以外の人が分解、修理等を行いますと、発火したり、異常動作が起こり、けがをすることがあります。

●電源プラグを抜くときは、コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください。正しく抜かないとコードが傷み、感電したり、ショートして発火することがあります。

●ご使用前には、必ずコードや差し込みプラグを点検してください。コードや差し込みプラグは、傷んだまま使いますと、やけど、感電、火災の原因になります。

●給水タンクの中には、熱湯、牛乳、酒、一度沸かしたコーヒーなど、水以外のものは入れないでください。本体内部が汚れたり、詰まったりして故障の原因になります。

●できるだけ浄水器を通した水をご利用ください。ミネラルウォーターのご使用は、ミネラル分が本体内に付着して詰まる等、故障の原因になります。

●給水タンクが空のまま電源を入れないでください。故障の原因になります。

●給水タンクに水を残したまま放置しないでください。水が腐敗します。水は常に新しいものをご使用ください。

●ご使用中は本体を動かさないでください。なお、ご使用直後は、スチーム・給湯ノズルが熱くなっていますので、手を触れないでください。

●不安定な場所や熱に弱い敷物の上では使わないでください。火災の原因になります。

●洗浄の際、排水グリッドの溝で手を傷つけないように気を付けて下さい。

安全上のご注意

ここに示した注意事項は、製品を安全に正しくお使いいただき、あなたや他の人々への危害や損害を未然に防止するためのものです。また注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取扱いをすると生じることが想定される内容を、「警告」と「注意」に区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

警告：人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。

注意：人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される内容。

○絵表示の例

・△記号は、危険・警告・注意を促す内容があることを告げるものです。
図の中に具体的な注意内容（左図の場合は感電注意）が描かれています。

・⊘記号は、禁止の行為であることを告げるものです。
図の中や近傍に具体的な禁止内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。

・●記号は、行為を強制したり指示したりする内容を告げるものです。
図の中に具体的な指示内容（コードを持たずに必ず先端の電源プラグを持って引き抜いてください）が描かれています。

警　告

修理技術者以外の人は、絶対に分解したり、修理・改造は行わないでください。発火したり、異常動作してけがをすることがあります。

コーヒー抽出口に指を入れたりしないでください。内部の針でけがをすることがあります。

注　意

電源プラグにピンやごみを付着させないでください。感電・ショート・発火の原因になります。

使用時以外は、電源プラグをコンセントから抜いてください。けがややけど、絶縁劣化による感電・漏電・火災の原因になります。

電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したり、無理に曲げたり、引っ張ったり、ねじったりしないでください。重い物を載せたり挟み込んだり加工したりすると、電源コードが破損し、火災・感電の原因となります。

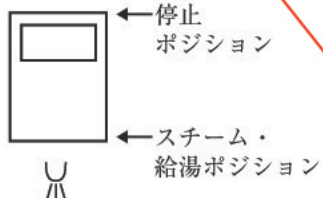
各部の名称

お買い上げのコーヒーメーカーをご使用になる前に、この説明書をよくお読みください。

安全のための注意書きを守って使用してください。

スチーム・給湯レバー
（上から見た図）

←停止ポジション

←スチーム・給湯ポジション

電源ON/OFFボタン（赤）

スチーム切り替えボタン(緑)

お知らせランプ（オレンジ）

開閉ハンドル

コーヒー抽出口

カプセルコンテナ

排水グリッド

排水お知らせフロート（黄）
（排水受け皿に排水がたまると、排水お知らせフロートが浮き上がってきます。）

ふた

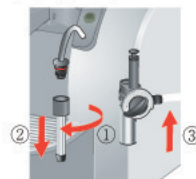
給水タンク(1.2リットル)

抽出ボタン：
小カップボタン
大カップボタン

スチーム・給湯ノズル
（お買い上げ時、本体にセットされております。）

オートカプチーノ・カフェラテノズル
(付属品として同梱されております。)

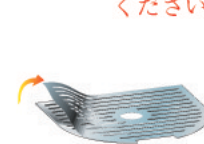
排水受け皿

オートカプチーノ・カフェラテノズルの取り付け方

●改良の為、予告なく仕様を変更することがあります。

●本取扱説明書では、以下D290のイラストを使用しておりますが、C290につきましても、使用上のご注意、各部の名称、ご使用方法などは同じです。

ご使用の前に

ご使用の前にこの取扱説明書をよくお読みいただき、正しくお使いください。２～３ページの「使用上のご注意」、「安全上のご注意」をお読みください。

装置の底に取り付けてある技術仕様プレートに書かれた電圧がお客様の電気設備に対応していることを確認してください。

排水グリッドの保護ホイルを取り除いてください。

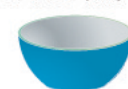
給水タンクを取り外しして給水してください。

給水タンクをセットしてください。

湯通しの方法
はじめてお使いになる前／長い間お使いにならなかった場合：

1 コーヒー抽出口の湯通し

電源ON/OFFボタンを押してください。コーヒー抽出の適温になるまで「赤色」のランプが点滅します。適温になると「赤色」のランプが点灯に変わります。（約30秒から1分間）

100cc以上のカップを抽出口の下にセットしてください。

カプセルをセットしないで「大カップボタン」を押してください。1回当たり100cc分のお湯が湯通しされ、自動的にストップします。(湯通しを途中でストップする場合は、点滅している大カップボタンをもう一度押すと湯通しが止まります。)
同じ作業を6回程度繰り返し行い、湯通しをしてください。

6 回程度

2 スチーム・給湯ノズルの湯通し

カップをスチーム・給湯ノズルの下にセットします。

スチーム・給湯レバーをスチーム・給湯ポジションに動かしてください。

レバーを停止ポジションに戻してください。

スチーム・給湯ポジションで大きめのカップ１～２杯分湯通しをしてください。これで湯通し作業は完了です。

基本機能

電源ON/OFFボタン
を押してください。

コーヒー抽出の適温になるまで
「赤色」のランプが点滅します。
適温になると「赤色」のランプが
点灯に変わります。(約30秒から1分間)

全てのボタンが点灯します
と準備完了です。

小カップボタンまたは大カップボタンを押してコーヒーを抽出します。

または

注意事項

オレンジ色のお知らせランプが点滅し、ブザーが3回鳴った場合

カプセルコンテナが使用済みカプセル
で一杯になっています。

3回

ブザー
"ピー、ピー、ピー"

排水グリッドを外した後、
①排水受け皿の手前を少し持ち上げながら水平に引き出して下さい。
②カプセルコンテナを上に抜き取ってください。

カプセルコンテナ内の使用済みカプセルを捨ててください。

排水を捨てて下さい。

小カップボタン、または大カップボタンを押した時、オレンジ色のお知らせランプが点滅し、ブザーが1回鳴った場合

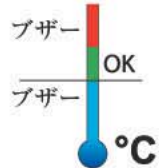
1回

ブザー
"ピー"

装置の準備が出来ていません。
排水受け皿を正しくセット
し直してください。

または

カプセルコンテナが使用済みカプセルで一杯になったままです。カプセルコンテナを抜き取り、使用済みカプセルを捨ててください。

小カップボタン、または大カップボタンを押した時、電源ON/OFFボタンが点滅し、ブザーが1回鳴った場合

本体内部の温度が高すぎます、または、低すぎます。
約30秒間お待ちください。自動的に適温に戻ります。

コーヒー抽出量の設定変更

開閉ハンドルを上げ、
カプセルをセットします。

開閉ハンドルを水平になる
まで下ろします。

カップをコーヒー抽出口の
下に置いてください。

小カップボタンで設定する場合

小カップボタンを
押し続けてください。

3秒以上押し続けますとボタンが
点滅し、設定を始めます。

お好みの量になりましたら、ボタンから指を離してください。設定完了です。次回より設定変更した量で自動的に抽出をストップします。

大カップボタンで設定する場合（小カップボタンと同じ要領で設定してください。）

大カップボタンを押し続けてください。

3秒以上押し続けますとボタンが
点滅し、設定を始めます。

お好みの量になりましたら、ボタンから指を離してください。設定完了です。次回より設定変更した量で自動的に抽出をストップします。

コーヒーの作り方

エスプレッソ
Espresso

あらかじめカップを温めておくことをお勧めします。

開閉ハンドルを上げます。

カプセルをセットします。

開閉ハンドルを水平になるまで下ろします。

カップをコーヒー抽出口の下に置いてください。

小カップボタンまたは大カップボタンを押してください。

初期設定されているコーヒー抽出量

- ●小カップ　：　50cc
- ●大カップ　：　100cc

コーヒー抽出を変更するには、7ページの「コーヒー抽出量の設定変更」を参照してください。

設定された量のコーヒーが抽出され、自動的に抽出ストップします。

コーヒー抽出後、開閉ハンドルを上げると使用済みカプセルは内蔵のカプセルコンテナに自動排出されます。カプセルを確実に排出するために開閉ハンドルはゆっくりと上げてください。

 コーヒー抽出中は開閉ハンドルを上げないで下さい。

カプチーノ／カフェラテの作り方

カプチーノ／カフェラテ
Cappuccino / Caffelatte　オートカプチーノ・カフェラテノズルを使う場合

スチーム・給湯ノズルを取り外しオートカプチーノ・カフェラテノズルをセットします。

スチーム切り替えボタンを押します。電源ON/OFFボタンの「赤色」のランプが点滅します。約30秒間お待ちください。

スチームの適温になりますと「赤色」のランプが点灯に変わり、準備完了です。

フォームミルクとホットミルクの切り替え

フォームミルクの場合「CAPPUCCINO」（カプチーノ）の位置にしてください。

ホットミルクの場合「CAFFELATTE」（カフェラテ）の位置にしてください。

温度変更範囲：約55℃～75℃

Step1

⚠ 別容器の牛乳が空になった場合、または、チューブが牛乳から浮いてしまった場合、カップに入った牛乳が周囲に飛び散ることがありますので、ご注意下さい。

あらかじめ別容器に冷たい牛乳を入れておきます。

オートカプチーノ・カフェラテノズルのチューブの先を牛乳の入った容器に入れ、ノズルの下にカプチーノカップを置きます。

スチーム・給湯レバーをスチーム・給湯ポジションに動かしてください。

牛乳を吸い上げ、自動でフォームミルクまたはホットミルクがカップに注がれます。

適量になりましたら、レバーを停止ポジションに戻してください。停止ポジションに戻りきっていない場合、コーヒー抽出が出来なくなりますので戻しきって下さい。

Step2 オートクールダウン（自動冷却）：2分後に冷却が自動的に始まり、終了します。

（注）手動でクールダウンを行う場合：

スチーム切り替えボタンを押します。

電源ON/OFFボタンの「赤色」のランプが点滅し、本体内部の冷却が自動的に始まり、終了します。コーヒー抽出の適温になりますと、「赤色」のランプが点灯に変わります。

排水グリッドからスチームが出てきます。オートカプチーノ・カフェラテノズル、排水グリッドはとても熱くなっています。

クールダウンとは：
スチーム使用後は本体内部の温度が非常に高くなっています。この状態ではコーヒー抽出に適さないため本体内部を冷却し適温に戻します。

手動で行わない場合(スチーム切り替えボタンを押さない場合)、2分後に冷却が自動的に始まり、終了します。

Step3

クールダウン終了後、カプセルをセットします。

フォームミルクまたはホットミルクの入ったカップをコーヒー抽出口の下に置いてください。

小カップボタンまたは大カップボタンを押してください。

コーヒーが抽出されます。

出来上がりです。

(注)フォームミルクやホットミルクを入れすぎたり、コーヒー抽出設定量によっては、コーヒー抽出時にカップからあふれ出ることがありますので、ご注意下さい。あふれそうになった時は、抽出ボタンを再度押して、コーヒー抽出をストップして下さい。

オートカプチーノ・カフェラテノズル使用後のお手入れ方法

使用後は毎回すすいでください。

スチーム切り替えボタンを押します。
電源ON/OFFボタンの「赤色」のランプが点滅します。約30秒間お待ちください。

準備中

スチームが適温になりますと「赤色」のランプが点灯に変わり、準備完了です。

あらかじめ別容器に水またはお湯を入れておきます。オートカプチーノ・カフェラテノズルのチューブの先を水(またはお湯)の入った容器に入れ、ノズルの下に更に別の容器を用意します。

スチーム・給湯レバーをスチーム・給湯ポジションに動かしてください。

10秒以上すすいだ後、レバーを停止ポジションに戻してストップして下さい。

オートクールダウン（自動冷却）：２分後に冷却が自動的に始まり、終了します。

（注）手動でクールダウンを行う場合：
スチーム切り替えボタンを押します。

電源ON/OFFボタンの「赤色」のランプが点滅し、本体内部の冷却が自動的に始まり、終了します。
コーヒー抽出の適温になりますと、「赤色」のランプが点灯に変わります。

排水グリッドからスチームが出てきます。オートカプチーノ・カフェラテノズル、排水グリッドはとても熱くなっています。

手動で行わない場合（スチーム切り替えボタンを押さない場合）、2分後に冷却が自動的に始まり、終了します。

オートカプチーノ・カフェラテノズルの分解	スチーム・給湯ノズルの分解	
	(細いゴムの下にある空気穴２ヶ所と溝を洗浄してください。) ① ② ゴム	週に一度は ノズルをはずして 洗浄してください。

スチーム・給湯ノズルのご使用方法

給湯の場合

スチーム・給湯ノズルをセットします。

ノズルの下にカップを置きます。

スチーム・給湯レバーをスチーム・給湯ポジションに動かして給湯してください。

お好みの量になりましたらレバーを停止ポジションに戻してください。

カプチーノを作る場合

最初にカプチーノカップにコーヒーを抽出します。

スチーム切り替えボタンを押します。
電源ON/OFFボタンの「赤色」のランプが点滅します。約30秒間お待ちください。

温め中

スチームが適温になりますと「赤色」のランプが点灯に変わり、準備完了です。

準備完了

あらかじめ別容器に冷たい牛乳を入れて、ノズルを図の様に入れてください。
ノズルの先を水面より下に入れて下さい。
またカップの底にはつけずに底から少し浮かせてください。

ワンポイントアドバイス

- 冷えた牛乳でないと泡立ちません。
- 低脂肪や特殊加工された牛乳は泡立ちません。成分無調整の牛乳をお使いください。

スチーム・給湯レバーを給湯ポジションに動かしてください。スチームが出て牛乳を泡立てます。

牛乳が泡立ちましたらレバーを停止ポジションに戻してください。

（注1）マグカップなどの底の平らなカップを使用する時は、右図のようにカップを斜めにして、ある程度深さを作って下さい。牛乳の表面に近すぎますと大きな泡が飛び散ることがありますので、ご注意ください。レバーを停止ポジションに戻すと、排水受け皿から蒸気が出る場合もありますが、故障ではありません。

（注2）カプチーノ用ミルクは、１杯分５０ｃｃを目安にして下さい。５0cc用いても全て泡（フォームミルク）になるわけではありません。１／３位はホットミルクになります。先にホットミルクが出る為、１度に２杯分以上を作り複数のカップに分けるときは、それぞれのカップに少しづつ注いで下さい。

1/3 フォームミルク
1/3 ホットミルク
1/3 エスプレッソ

スチーム・給湯ノズルはとても熱くなっています。

オートクールダウン（自動冷却）：左の頁（10ページ）のオートクールダウン（自動冷却）の欄をご参照下さい。

お手入れ方法
湯垢洗浄剤の使用方法

湯垢洗浄処理：以下の作業は約20分ほど時間を要します。

酢は使用しないでください。 湯垢洗浄剤はマシン本体表面に変色等の損傷をきたしますので、ご注意下さい。

1 準備

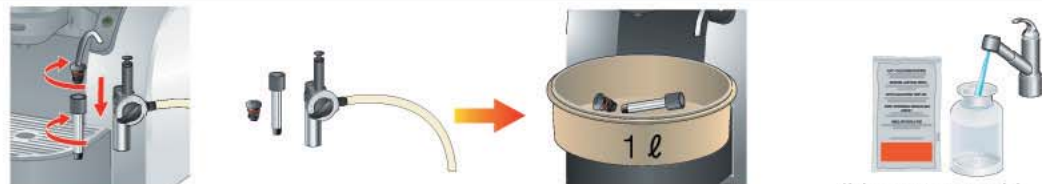
6ヶ月に1回または、600杯分のコーヒー抽出後が洗浄時期の目安です。

カプセルを取り除いてください。

給水タンクの水、排水受け皿の排水、カプセルコンテナの使用済みカプセルを捨ててください。それぞれ空になりましたら、元の位置に戻してください。

スチーム・給湯ノズル、オートカプチーノ・カフェラテノズルを取り外します。

1リットルほどの容器を用意し、その中に分解したノズルを入れ、排水受け皿の上に置きます。

給水タンクに500mlの水と別売アクセサリーの湯垢洗浄剤を入れ本体にセットして下さい。

安全のための注意書きはパッケージに記載されています。

2a ノズルの洗浄

電源ON/OFFボタンを押して、電源ONにします。電源ON/OFFボタンの「赤色」のランプが点滅します。約30秒間お待ちください。適温になると「赤色」のランプが点灯に変わります。

ON

~30秒

準備中

小カップボタンと大カップボタンを同時に3秒以上押してください。

電源ON/OFFボタンが点滅し、本体内部のバルブの洗浄が自動的に始まり、終了します。

電源ON/OFFボタンだけが点灯します。

スチーム・給湯レバーをスチーム・給湯ポジションに動かしてください。

用意した容器にノズルからお湯が注がれます。給水タンクの水がなくなるまで洗浄します。

給水タンクが空になりましたら、レバーを停止ポジションに戻してください。

ノズルを容器から取り出して、水ですすいでください。

容器に溜まった洗浄剤はそのまま再利用します。再度給水タンクに入れてください。

2b 本体内部とコーヒー抽出口の洗浄

電源ON/OFFボタンを押して、電源OFFにします。

再度、電源ON/OFFボタンを押して、電源ONにします。電源ON/OFFボタンの「赤色」のランプが点滅します。約30秒間お待ちください。適温になると「赤色」のランプが点灯に変わります。

~30秒

準備中

2aノズルの洗浄の場合と同様、小カップボタンと大カップボタンを同時に3秒以上押してください。

2c

電源ON/OFFボタンが点滅し2回目の本体内部のバルブの洗浄が自動的に始まり、終了します。

電源ON/OFFボタンだけが点灯します。

別容器を排水受け皿の上に置き、大カップボタンを押します。本体内部とコーヒー抽出口の湯垢洗浄を行います。5回程度、同じ作業を繰り返してください。

5回程度

3 容器のすすぎ

本体内部とコーヒー抽出口の湯垢洗浄が終わりましたら、給水タンクの水、排水受け皿の排水、別容器に残った洗浄溶液を捨ててください。

使用しました容器を充分な水で洗い、すすいでください。

すすぎ終わりましたら、新しい水を給水タンクに入れて、別容器を排水受け皿の上に置きます。

4a コーヒー抽出口のすすぎ

給水タンクに満水レベルまで水が入っていることを確認してください。

大カップボタンを押し、本体内部とコーヒー抽出口をすすいでください。5回程度、同じ作業を繰り返してください。

4b ノズルのすすぎ

スチーム・給湯レバーをスチーム・給湯ポジションに動かしてください。

用意した容器にノズルからお湯が注がれます。給水タンクの水がなくなるまですすいでください。

給水タンクが空になりましたら、レバーを停止ポジションに戻してください。

5 仕上げ

きれいな水を再度給水タンクに入れてください。

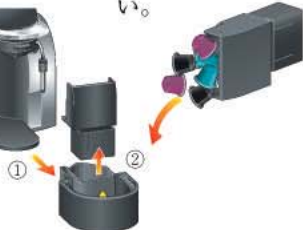
ノズルの組立て方

スチーム・給湯ノズル、またはオートカプチーノ・カフェラテノズルを取り付けてください。

これで湯垢洗浄処理は完了しました。電源ON/OFFボタンを押して、電源OFFにしてください。

日々のお手入れ

使用済のカプセルは
必ず取り除いてください。

カプセルコンテナの使用済みカプセルを捨ててください。

給水タンクの水を捨ててください。

排水受け皿の排水を捨ててください。

排水受け皿、給水タンク、カプセルコンテナを、きれいに洗浄してください。

洗浄が終わりましたら、元の位置に戻してください。

ご使用になる前に給水タンクに水を入れてください。

電源ON/OFFボタンを押してください。電源ON/OFFボタンの「赤色」のランプが点滅します。約30秒間お待ちください。

適温になりますと「赤色」のランプが点灯に変わり、全てのボタンが点灯し準備完了です。

大カップボタンを押して、湯通しをしてください。（1~2回程度）

付属アクセサリー

取扱説明書（本冊子）

スチーム・給湯ノズル

オートカプチーノ・
カフェラテノズル用チューブ

スペアパーツ
（別売アクセサリー）

オートカプチーノ・
カフェラテノズル

給水タンク（ふた付き）

お手入れ用品
（別売アクセサリー：ネスプレッソクラブにて）

ディスケーリングキット（湯垢洗浄剤）

アクセサリー# 3035/CON

故障かな？と思ったら

	ランプがつかない		電源コードとブレーカーを確認してください。
	コーヒーがぬるい		→カップをお湯で温めてから、コーヒーを抽出してください。 →マシンが冷えていませんか。一度湯通ししてください。(P 5「1 コーヒー抽出口の湯通し」を参照)
	コーヒーが出ない		カプセルをセットするプレートが目詰まりしていませんか。 コーヒー抽出口の湯垢洗浄をしてください。
	排水受け皿に水がたまる		コーヒー抽出をする度に受け皿に毎回少量の水が排水されますが異常ではありません。 受け皿の外に水が漏れる場合は、受け皿を本体奥までしっかりと入れてください。
	スチーム・給湯ノズル、オートカプチーノ・カフェラテノズルからスチーム、お湯が出ない		スチーム・給湯ノズルが目詰まりしていませんか。(P 5「2 スチーム・給湯ノズルの湯通し」を参照) オートカプチーノ・カフェラテノズルが目詰まりしていませんか。(P10「オートカプチーノ・カフェラテノズル使用後のお手入れ方法」を参照)
	カプチーノ用の牛乳が泡立たない		温かい牛乳を使っていませんか。 低脂肪の牛乳を使っていませんか。(P11ワンポイントアドバイス参照) スチーム・給湯ノズルが詰まっていませんか。
	水が出ない		給水タンクに水が入っているか確認してください。 給水タンクがきっちりセットされているか確認してください。

製　品　仕　様

電源	：100V　50／60Hz
消費電力	：1250W
給水タンク	：1200cc（デミタスカップで約24杯、カプチーノカップで約12杯）
大きさ	：C290 W220 × D355 × H310mm ／ D290 W220 × D345 × H310mm
本体重量	：4.7kg
コードの長さ	：約1.2m

愛情点検

長年ご使用のコーヒーメーカーの点検を！

このようなことはありませんか	●電源プラグ・コードが異常に熱くなる。 ●コードに傷がついていたり、触れると通電したりしなかったりする。

このようなときは使用を中止し、事故防止のため、必ずネスプレッソに点検・修理をご相談ください。

便利メモ　*おぼえのため記入されると便利です*

品　番	C290／D290	お買い上げ日	年　月　日
販売店名	☎　　（　　）		

ネスレネスプレッソ株式会社

〒105-0014　東京都港区芝2丁目1番33号　フリーダイヤル 0120-57-3101　www.nespresso.co.jp